

フロンティアスクール中間報告

(鳥取県)

学校の概要(平成15年4月)

鳥取市立久松小学校									
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	2	3	2	15	22
児童数	54	47	49	58	57	81	4	350	

実践研究の概要

1, 主題(テーマ)

みがこう自分を 広げよう世界を
生き生きと学び 豊かに創造する子ども

2, 内容と方法

(1) 実施学年・教科

全学年 算数 (本校児童には、自分の考えを伝える力・相手の考えをしっかりと聞く力が不足しているという課題がある。算数科にしぼり、その内容・方法を見直し、集団で練り上げていく場を確保していくことで、その力がついていくものとする。))

(2) 年次計画

平成14年度	<p>テーマ みがこう自分を 広げよう世界を 生き生きと学び、豊かに創造する子ども</p> <p>仮説 お互いの考えを大切にし合い高まろうとする集団の中で、分かる学習を展開したり、環境を整えたりしていけば、主体的に学び、その学びを生活に生かそうとする子どもが育つであろう。</p> <p>研究内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究体制づくり ・実態把握 ・学習指導方法の工夫 ・授業研究会 ・学級経営を基盤とした豊かな人間関係づくり ・実践研究の組織づくり ・教材の開発 ・学習規律の見直し、徹底 ・先進校視察
--------	---

平成
15
年度

テーマ みがこう自分を 広げよう世界を
生き生きと学び、豊かに創造する子ども

仮説 適正な評価のつみあげ生かしながら、教材研究を大切にし分かる学習を展開したり、学び方を身に付けさせ自力解決の力を育てたりしていけば、児童は学ぶ楽しさや価値を見だし、より主体的に学ぶことができるであろう。

研究内容・方法

一年次の見直し

- ・ AAI 検査実施による実態把握
- ・ 評価と指導の一体化をめざした実践の充実
- ・ 学習指導法の工夫
- ・ 学習規律の徹底
- ・ 学び方の育成
- ・ 授業研究会
- ・ 先進校視察

- * 指導法の工夫や形態等はもちろんのこと、学ぶよさが味わえる算数であることが大切と考え、教材研究や教師自らの研修が基本と確認をした点を仮説に文章化した。
- * 昨年度、児童の学習に対する意欲面での客観的データがなかったので、本年度はそれから始めた。

(3) 研究
体制
平成
16
年度

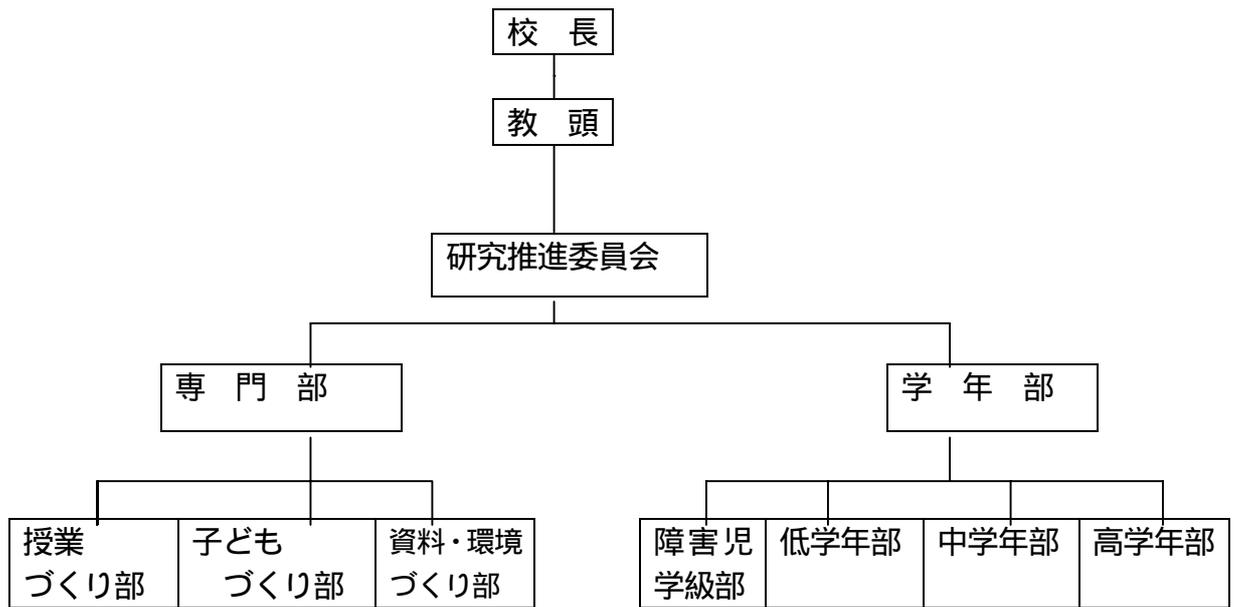
テーマ みがこう自分を 広げよう世界を
生き生きと学び、豊かに創造する子ども

仮説 適正な評価のつみあげ生かしながら、教材研究を大切にし分かる学習を展開したり、学び方を身に付けさせ自力解決の力を育てたりしていけば、児童は学ぶ楽しさや価値を見だし、より主体的に学ぶことができるであろう。

研究内容・方法

一・二年次の見直し

研究のまとめと発信（研究発表会の実施）



平成15年度の成果及び課題

成果

- ・ 昨年度にくらべて、算数科への粘りが出てきたように思える。
(「算数に関するアンケート」(2003年10月実施)より)

分からないときの対応について

「先生に聞く」が低・中学年で1位。(約3割)特に中学年で増えた。また、学年が上がるにつれて、「友達」に聞く児童が多くなっている。本校のテーマである『学び合う姿』が、全体での練りあいや、グループごとの教え合いなどを通して、見られだした。

好きな教科について

昨年度に比べ、「好きな教科」の中に算数を入れている児童が低学年で、2ポイント増えた。(中・高学年では変わりなし)

算数科の理解について

高学年になるにつれて、「少し分からない・分からない」児童が増えてくるが、「先生が時間をかけて分かりやすく教えてくれる」「問題が解けるようになってやる気が出てきた」等の記述もあった。

- ・ 少人数指導では、より多くの児童が自分の意見を発表するなどの機会が増え、主体的に学ぶ姿が見えだした。また、約7割の児童が「選択したコースは自分に合っている」と答えており、コース選択の力も付いてきたように思う。
- ・ 月～金曜日までの朝のスキルタイムは、昨年度の5分間から10分間に時間を延ばした。短時間に集中して問題に取り組む姿勢は変わらないが、後の自

己採点等落ち着いてでき、有効であったと思う。

- ・ 視察研修を多くもてたことで、先進校のそれぞれ特色ある取り組みが見えて本校の取り組みを見直す一助となった。

課題

- ・ コース別あるいはT・T形態での効果をあげるための教材研究
(全員であるいは学年別で研究する題材を年間の計画に入れる。)
- ・ 指導力向上のための研修
(各自授業記録を多くとり、分析していく。)
- ・ 補充・発展的学習への対応
(少人数指導形態の中で・プリントを使って等)
- ・ 評価と指導の一体化をより図るための実践の見直し
(より具体的な評価規準作成のための共通理解と、それぞれへの手立て)

学力把握のための学校の取り組み

- ・ 月例テスト
- ・ 学力診断テスト
- ・ ノート等 日々の学習を通して
- ・ 少人数指導を通して、お互いの情報交換
- ・ 基礎学力調査の結果を受けて実態把握と手立ての検討
- ・

フロンティアスクールとしての今後の普及について

- ・ 学校だよりを通して、地域・保護者へ
- ・ 研究のまとめを作成し、北中校区へ配布予定
- ・ 学習公開をし、広く意見を求める(10頃の予定)

【新規校・継続校】 14年度からの継続校
【学校規模】 13～18学級
【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
【研究教科】 算数
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有